

# 1月臨時会

1月臨時会が1月31日に開催され、**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金** **質疑1**などを財源とする議案第1号令和3年度一般会計補正予算（第9号）、5億8,464万5千円が審議され原案のとおり可決されました。

主な事業と**質疑**は次のとおりです。

- 低所得者世帯支援事業(生活応援金給付事業)…… 1,526万2千円
- 農業振興対策事業…………… 2,234万3千円
  - 農業経営収入保険加入促進事業** **質疑2** …… 360万円
  - 米価下落緊急対策事業** **質疑3** …… 1,874万3千円
- 道路改良事業 …… 4億8,074万円
- 宅地耐震化推進事業 …… 4,200万円
- 小学校・中学校一般管理費 …… 2,430万円



北野唯道議員

## **質疑1** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

**答** この交付金は、感染症の拡大防止、感染拡大で影響を受けている地域経済・住民生活への支援、アフターコロナに備えた事業に活用でき、総額16億171万1千円で今回の1月補正では、4,975万5千円計上している。

## **質疑2** 農業経営収入保険加入促進事業で保険料の一部補助について

**答** 本市の農業経営体数は1,702経営体（米農家は1,569経営体）で、その内青色申告者は320経営体あり、昨年12月末までの収入保険加入者は105経営体である。

収入保険制度は掛け捨てとなる保険方式のため、加入者の負担となるが、ナラシ対策は国の交付金と加入者の積立金の返納により補てんされるため対象外とした。



佐川京子議員

## **質疑2** 農業経営収入保険加入促進事業を今回なぜ実施することにしたか

**答** コロナ禍が長期化するなか米価下落等様々なリスクに備えるため。

## **質疑3** 米価下落緊急対策事業について、県同様種もみ代の一部補助をなぜ決めたのか

**答** 生産者の営農継続や意欲向上につなげるため。



種もみ



議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めるもの。

## ウクライナ軍事侵攻に抗議

3月2日本会議の冒頭において、ロシアによるウクライナ軍事侵攻による犠牲者の方々に黙とうを捧げ、ロシアへの抗議の意思を示すため、3月4日に白河市議会として「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で採択しました。

また、赤十字社が実施する救援活動を支援するため「ウクライナ人道危機救援金」10万円を3月28日に贈りました。

## 3月定例会



提出者の高橋議員